

沖縄及び北方問題に関する特別委員会

委員一覧（20名）

委員長	鈴木 宗男（維新）	猪口 邦子（自民）	徳永 エリ（立憲）
理事	高橋 はるみ（自民）	今井 絵理子（自民）	秋野 公造（公明）
理事	山田 宏（自民）	岩本 剛人（自民）	音喜多 駿（維新）
理事	白 眞勲（立憲）	鶴保 庸介（自民）	川合 孝典（民主）
理事	河野 義博（公明）	三宅 伸吾（自民）	紙 智子（共産）
	有村 治子（自民）	石橋 通宏（立憲）	伊波 洋一（沖縄）
	石田 昌宏（自民）	勝部 賢志（立憲）	（会期終了日 現在）

（1）審議概観

第204回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査等〕

3月17日、沖縄及び北方問題に関するの施策に関する件について、河野内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）及び茂木外務大臣から所信を聴いた。

3月23日、予算委員会から委嘱された令和3年度内閣府（内閣本府（沖縄関係経費）、北方対策本部、沖縄総合事務局）及び沖縄振興開発金融公庫の予算について審査を行い、北方領土返還運動の新たな担い手の育成に向けた政府の取組、現

行沖縄振興特別措置法の理念・目的の下での沖縄振興一括交付金減額の妥当性、琉球かれんの特徴と小中学校の授業での活用など普及に向けた支援の可能性、民族共生象徴空間（ウポポイ）の運営状況及びウィズコロナに対応した普及啓発活動の在り方、港湾機能の充実などを通じた沖縄の地理的優位性をいかに振興策の必要性、原資の取崩しが可能となった北方基金の現状と今後に向けた課題、沖縄県の一人当たり県民所得を全国最下位から引き上げるための方策等について質疑を行った。

（2）委員会経過

○令和3年1月18日（月）（第1回）

○特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○令和3年3月17日（水）（第2回）

○沖縄及び北方問題に関するの施策に関する件について河野内閣府特命担当大臣及び茂木外務大臣から所信を聴いた。

○令和3年3月23日（火）（第3回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○参考人の出席を求めることを決定した。

○令和3年度一般会計予算（衆議院送付）

令和3年度特別会計予算（衆議院送付）

令和3年度政府関係機関予算（衆議院送付）

（内閣府所管（内閣本府（沖縄関係経費）、北方対策本部、沖縄総合事務局）及び沖縄振興開発金融公庫）について河野内閣府特命担当大臣から説明を聴いた後、同大臣、宮内農林水産副大臣、中山防衛副大臣、中西外務大臣政務官、政府参考人及び参考人国立研究開発法人日本医療研究開発機構理事長三島良直君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

高橋はるみ君（自民）、石橋通宏君（立憲）、
秋野公造君（公明）、音喜多駿君（維新）、
川合孝典君（民主）、紙智子君（共産）、伊
波洋一君（沖縄）

本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和3年6月16日（水）（第4回）

- 沖縄及び北方問題に関しての対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。